

西日本支部シンポジウム「中央構造線と中央構造線活断層系」プログラム

座長：1-5（午前の部）早坂康隆，6-9（午後の部）高木秀雄、総合討論（早坂・高木）

通番	講演時間	タイトル（和）	発表者
0	9:10 - 9:20	シンポジウム趣旨説明	早坂康隆（広島大学）
1	9:20 - 10:00	中部九州の地質図幅に表された西南日本の基本構造（招待講演）	斎藤眞・宮崎一博（産総研地質調査総合センター）
2	10:00 - 10:25	九州における中央構造線についての諸問題：肥後帯と領家帯	高木秀雄（早稲田大学）
10:25 - 10:35		小休憩	
3	10:35 - 11:00	九州：西南日本弧と琉球弧の遷移帯	眞島英壽（明治大学）
4	11:00 - 11:25	中央構造線発達史の新たな展開（Ridge subductionによる市之川フェーズ，左横ずれトランスプレッションの先碓部フェーズ）	窪田安打（応用地質(株)），竹下徹（北海道大学），八木公史（(株)蒜山地質年代学研究所），板谷徹丸（NPO 地球年代学ネットワーク）
5	11:25 - 11:50	中央構造線と「中央構造線活断層系」の関係について	早坂康隆・古橋拓也・川口健太（広島大学）
11:50 - 12:50		昼休み	
6	12:50 - 13:30	“中央構造線活断層系”の震源断層（招待講演）	伊藤谷生（明治大学）
7	13:30 - 13:55	地球物理学的にみた中央構造線活断層系の深部形状と震源断層	佐藤比呂志・Van Horne Anne・加藤直子（東京大学地震研究所），松原誠・ヤノトモコ（防災科学技術研究所），松浦律子（地震予知振興会）
8	13:55 - 14:20	佐田岬半島におけるMTLに関連する脆性断層の時空区分	小松正幸（愛媛大学），薦田靖志，早坂康隆（広島大学），豊島剛志（新潟大学）
14:20 - 14:30		小休憩	
	14:30 - 15:00	総合討論	司会：早坂康隆（広島大学）・高木秀雄（早稲田大学）

本シンポジウムの講演要旨は8（小松ほか）以外は、地質学会第124年学術大会（愛媛）の講演要旨を再掲したものである。